

「和食文化国民会議」第1回 普及・啓発部会

日 時 : 平成 27 年 5 月 25 日 (木) 13:00-16:50  
場 所 : 三会堂ビル 9 階 石垣記念ホール  
出席者 : 会員 97 名、オブザーバー 4 名、報道関係者 9 名  
進 行 : マルコメ(株) 須田信広氏

1. 開会

2. 講演「だしのお話」 部会長 伏木 亨氏

冒頭にて当法人と部会設立の経緯及び目的について説明された。

講演では、

- ・歴史的な視点
- ・現状と未来、海外での発展
- ・国内各地の伝統的食の集合としての和食
- ・栄養学的な視点
- ・伝統的な型としての視点
- ・味わいを軸とした視点

について学問的見地から「だし」について詳しく説明があり、「素材を活かす日本のだしが世界中で注目を浴びている」事と「だしの旨味を次世代に伝えるためには幼児期からの食の嗜好教育が重要である」事を強調される。

3. 部会員情報交換「味噌のお話」 マルコメ(株) 須田信広氏

講演の目的は、

- ・他社がどのような普及啓発活動を行っているかを知ってもらう事
- ・味噌をもっとみなさんに知って頂く事

であると説明された後、みそ業界の推移について、米や醤油の生産量減少と同様に味噌も 40 年間で 40%も生産量が低下している事を報告された。一方でインスタントみそ汁やだし入りみその生産量及び輸出量は増加傾向にあり、日本の食卓、生活環境の変化による需要の変化が数値として表れている事を説明された。

みその種類による味や色の違い、また熟成期間による色や香りの変化などを実際のサンプルを試食しながら参加者全員で確認した。

4. 休憩 (10 分間)

5. 重要な協議事項 部会長 伏木 亨氏

部会構成員 165 に対し、出席 76、委任状 53、議決権数 129 個で、会議は成立。

## 1) 副部長・幹事の選任の件

満場一致で以下の候補者が承認された。敬称略。

副部会長	増田徳兵衛	清酒月の桂醸造元代表取締役社長 日本酒造組合中央会海外戦略委員会委員長
幹事	新保正	(株)Smile Link Partners 代表取締役
	須田信広	マルコメ(株)広報部部長
	福本浩一	フジッコ(株)マーケティング本部市場開発グループ課長
	溝上宏	(株)NKB 取締役
	原滋典	(株)伊藤園 CSR 推進部課長 (一社)和食文化国民会議事務局参事

なお、「部会運営規程」第5条(2)(3)には、「副部会長1名以上3名以内」、「幹事3名以上10名以内」とあるが、今後、上記のメンバー以外の役員の増員は、部会長が会長の承諾を得て決定することに関しても、満場一致で承認された。

## 2) 事業計画について

大きく二つの方向性を持ち活動する旨説明があった。

一つは部会員に対する普及・啓発活動であり、例として5項目が提示された。もう一つは国民に対する和食の魅力を発信する活動であり、11月24日の和食の日及び11月の和食月間を一つの好機として和食文化に親しむ機会を創出・拡大する活動。

部会員に対する普及・啓発活動とも関連するが、部会員企業の所有する保養所などを利用し懇親を深める活動や、その地域における名産品を紹介するなどのツアーも企画としては是非挙げて頂きたいと部会員に説明した。加えて、HPやSNS等を利用し総合的な情報発信についても説明された。

上記の活動を進めるにあたり、それぞれの取り組みについて幹事が中心となりワーキングチームを形成し活動を行う事が報告された。各部会員は参加したいワーキングチームがあれば、アンケートに記載し提出して欲しい旨説明がなされた。

### [質疑応答]

八百善 栗山氏

部会員情報交換「味噌のお話」において子供たちを対象に活動を行っている事に関し、みその講義については良いが、みその試食は対象となる子供たちにとっては辛いのではないかと意見が挙がった。

また、和食文化国民会議という名称に負けないような活動および国民に対しての認知度向上を強く要望された。

(株)神明 筒井氏

質問) 具体的なスケジュール (開催頻度) は?

回答) 今回の様な部会については3ヶ月に一度程度を予定。このタームの中でワーキングチームはそれぞれの活動を行い、全体部会にて報告をする事を予定している。

質問) 3部会の連携については?

回答) 3部会の連携は随時行っていく。

質問) 各社、和食文化普及に取り組んでいるので、その事例について披露できる場が欲しい。

回答) マルコメの須田氏がおこなった部会員情報交換の一つであり、事例報告したい企業があれば、アンケートにも自由に記載願いたい。

質疑応答の後、満場一致で事業計画についても承認された。

## 6. 連絡事項 マルコメ(株) 須田信広氏

連絡事項として3点。

### ①会議会場提供の件

本日会場として使用した三会堂ビルの当会議室は半日で10万円近く費用が掛かる。会議室を無償または安価にてご提供できる企業様がいらっしゃれば、アンケートのその他の欄にその旨記載頂きたい。

### ②今後の連絡方法について

経費節減のために、今後の連絡事項は入会申込書に記載された事務連絡ご担当者のメールアドレス宛てに連絡する。

### ③部会員の名簿共有の件

部会員間の交流を深める目的で、希望者のみ部会員の名簿を共有したい。希望者は申込先メールアドレスに登録するメールを連絡し、その後送られてくる入力フォームに必要事項を記入の上、返送願いたい。

## 7. 自己紹介

一人30秒で所属、名前、PR事項を述べた。

次回開催日時 : 未定

開催場所 : 未定

開催内容 : 講演 伏木先生

その他はアンケートの結果により検討する。

部会のあと、懇親会を予定。

以上